

「絵本の森でフルーツ狩り展」の実施報告について

- 1 開催期間：2025年7月19日（土）～9月21日（日）
- 2 開催場所：町田市民文学館ことばらんど2階展示室
- 3 観覧者数：9,895人／57日間（1日平均：173人）
- 4 協力：偕成社 福音館書店 ブロンズ新社
ヤマムラアニメーション 関口恵美 高島一精

5 開催報告

町田市民文学館では、毎年夏に絵本原画展を開催しています。今夏は子育て中の親子が一緒に楽しめる鑑賞機会の提供を目指してフルーツをテーマにした「絵本の森でフルーツ狩り展」を開催しました。

「食べること」に興味・関心を持ちはじめた小さなお子さんは、まだ文字を読むことができないため、展示室はカラフルなフルーツ装飾や写真撮影用顔出しパネル、しりとりアニメーションなど展示空間自体を体感的に楽しめるように工夫しました。会場内各所には子どもたちの案内役としてクマのマロンと仲間たちのキャラクターシールを配置し、絵本作品の内容に興味に向くように努めました。

会場内に設けたフルーツ絵本や玩具を集めた「おままごとコーナー」は特に子どもたちの人気を集め、「スタンプラリー」や「くだものクイズ」、喫茶けやきの協力による町田産ブルーベリーを使用した企画展コラボメニューの提供も好評を得ました。

「貴重な絵本原画が見られてよかった」「子ども目線で一緒に見ることが出来る展示でとても楽しかった」「親子で来るのにぴったり！」という感想の他、「スタンプラリーがよかった」「コラボメニューに心惹かれた」「マロンがいろんなどころにいて可愛かった」など展示を含めて「フルーツの世界観全体がとってもかわいかった」という声が寄せられました。

文学館の展示活動を通じて、地域の子育て支援の可能性を探ることができました。

(1) 関連事業

実施日	タイトル	参加人数
7月29日	親子でたのしむブルーベリー狩り	8人
7月30日 8月27日	赤ちゃんといっしょ！はじめてのことば らんど	28人
7月26日 8月9日	ことばらんどマルシェ	約140人
8月17日 午前／午後	絵本ワークショップ「きみだけのフルーツ キャラクターを描こう！」	38人
8月24日 午前／午後	木工ワークショップ「木片で作るくだもの キーホルダー」	37人
9月14日	ひろかわさえこ講演会「赤ちゃん絵本のつ くりかた」	52人
7月26日 8月9日 9月21日	展示解説	41人
会期中	スタンプラリー	1,625枚
会期中	ぬりえ	1,564枚

(2) 資料

絵本原画、構成用下絵、絵本、キャラクター原画、アニメーション等
約200点

(3) パブリシティ

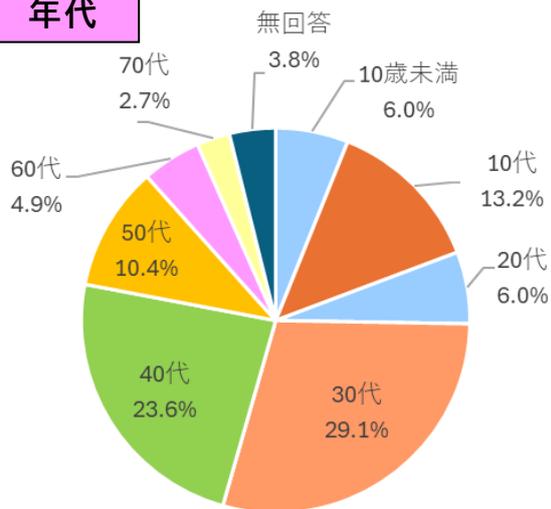
- ・絵本専門誌「Moe」に展覧会情報が掲載されたほか、福音館や偕成社
など出版社の専用サイトや神奈川新聞、イツコムの取材がありました。
- ・出展者の山村浩二氏、高島一精氏の Instagram はじめ展覧会関係者の
SNS 発信のほか、幼稚園、保育園へのチラシ配布が功を奏し、ロコミ
で同年代の子育て中の親子のグループが連れ立って来館される姿が
目立ちました。
- ・市内保育園、幼稚園等への夏休み前の「団体観覧」案内の配布によっ
て、会期中に13団体、合計157人の園児が来館しました。

(4) 来館者アンケート

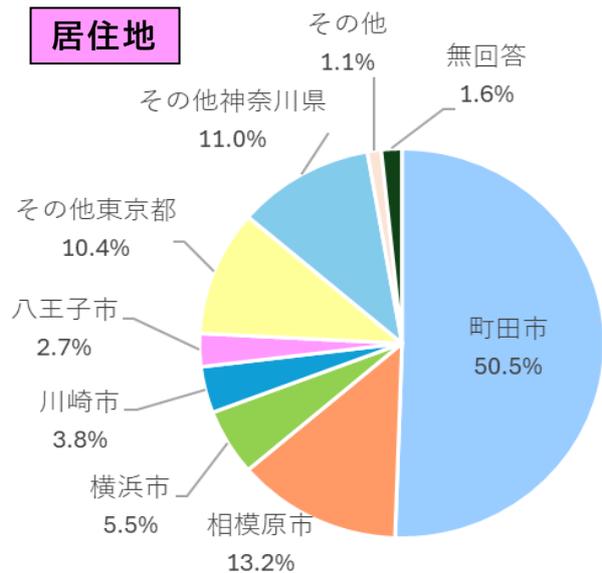
年代は30代が29.1%、40代が23.6%と高く、次いで10代(13.2%)、50代(10.4%)となり、ターゲット層とした30~40代が約半数(52.7%)を占めました。居住地では町田市が50.5%と最も高く、市内の子育て世代を想定した企画内容に合致しました。来館回数は、4回以上のリピーター40.7%と、はじめての来館者40.7%の割合が拮抗していることから、日頃から当館の活動に関心をもっている来館者層と、近隣市域の子育て世代の方がほぼ同等に足を運んだと推測されます。広報媒体ではポスター・チラシが48.8%で、訴求力のある高島一精氏のキャラクター「マロン」の採用により、「ポスターがとってもかわいらしく、行きたい!と思う親しみのあるポスター」だったと好評を得ました。来場者の95.6%の方から「大変満足・満足」の評価を得ることができました。

【集計結果】

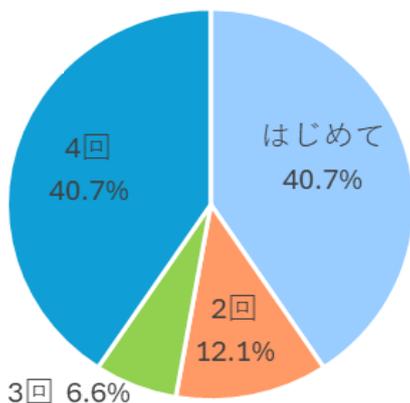
年代



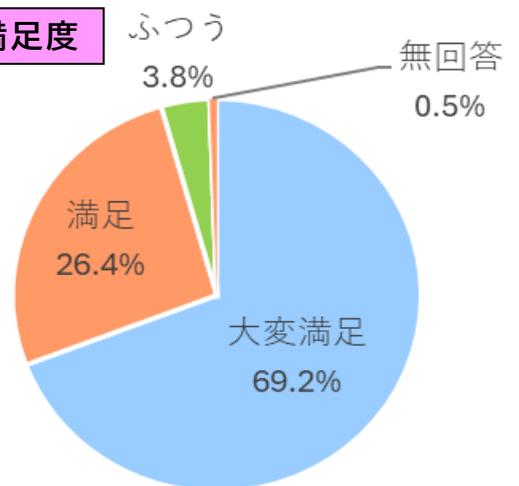
居住地



来館回数



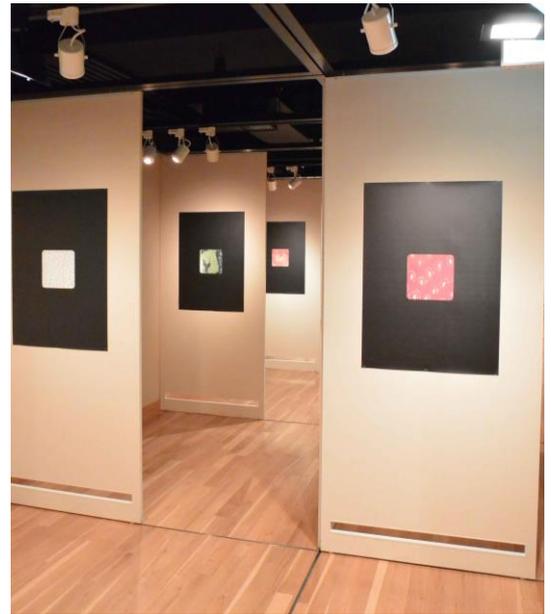
企画の満足度



【会場写真】



展示会場入り口



まどのむこうのくだものなにあ？



恋するくだもの彫刻



ちいさなくだものえほんシリーズ



マロンちゃん顔出し写真パネル



フルーツ絵本とおままごとコーナー